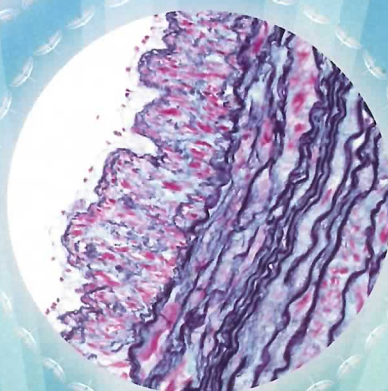
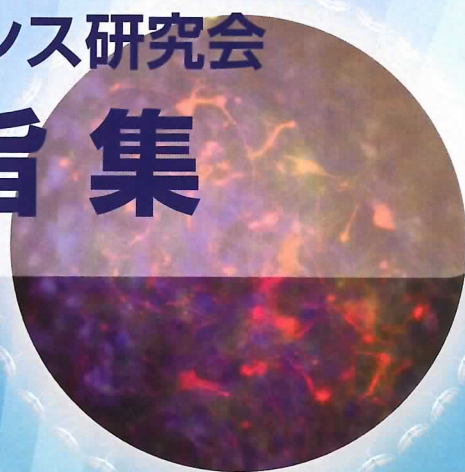
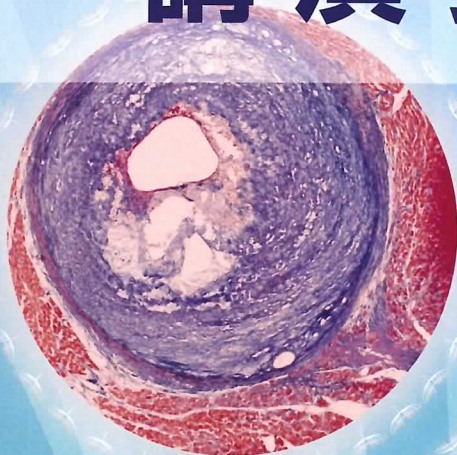


第2回

ウサギバイオサイエンス研究会

講演要旨集



大会長 大和田 一雄 (山形大学医学部)

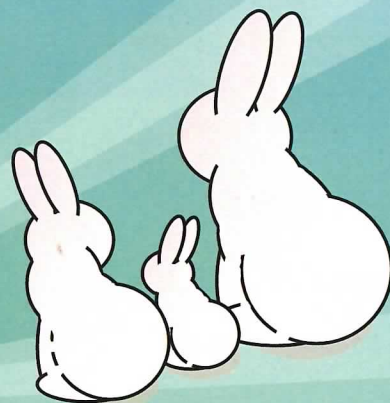
事務局長 福田 直樹

事務局 須藤 まゆみ

研究会事務局 森本 正敏

会期：平成25年8月3日(土)

場所：山形テルサ大会議室(山形市)



第2回ウサギバイオサイエンス研究会開催にあたり

第2回ウサギバイオサイエンス研究会

大会長 大和田一雄

(山形大学大学院医学系研究科

独立専攻動物実験医科学講座)

第2回ウサギバイオサイエンス研究会を山形の地で開催させていただくこととなりました。昨年、発足第1回大会が宮崎の地で浅田祐士朗大会長のもとで盛大に開催されたことは記憶に新しいところですが、それに続く第2回大会を山形で担当させていただきますことを心より光栄に存じます。

当研究会の目的である、「ウサギを用いた医学・生物学的研究に関する知識・技術の振興とその情報の普及を図り、延いては学術の発展に寄与する」こと、を視野に置き、準備を進めてまいりましたが、特別講演等のテーマや演者の先生方のご推薦にあたっては範会長、森本事務局長に全面的なご支援を賜りましたこと、紙面をおかりしてお礼申し上げます。

お陰様をもちまして、一般演題17題、特別講演2題、また今回の特別企画として大会長招聘ランチョンセミナー1題という内容で開催させていただく運びとなりました。

特別講演は、高橋貞夫先生(福井大学医学部 病態制御医学 内科学(3)講座)より、「超低比重リポ蛋白(VLDL)受容体の発見から病態生理機能の解明まで」と題し、また勝田新一郎先生(福島県立医科大学 医学部 細胞統合生理学講座)より、「循環動態の病態生理学的研究におけるウサギの有用性」と題するご演題で、先生方の日頃のご研究の成果をお聞かせいただくこととなりました。「ウサギ」という特徴を存分に活用した先進的なご講演を拝聴できるものと期待しております。

今回の特別企画として、大会長招聘ランチョンセミナーを開催させていただくことといたしました。石田直理雄先生((独)産業技術総合研究所 時間生物特別研究チーム長、筑波大学大学院教授)に「体内時計遺伝子から観る実験動物—脂質代謝から睡眠まで—」と題してご講演いただくこととなりました。生物時計という観点から「ウサギ」を覗いていただくきっかけになればと願っております。

前進のウサギフォーラムから刻みこんできた当研究会の伝統をどの程度継承できているか、甚だ覚束ないところではありますが、ご参加の皆様のご支援を賜りながら、所期の目的を果たせればと思っております。

おりしも、東北は夏祭り前夜の、一年で一番賑やかで暑い季節でもございます。研究会ご参加の合間に、あるいはお帰りの途中で山形のそして東北の夏もご堪能いただければこれに勝るものではありません。

ご参加の皆様にとって、活発なディスカッションの場となり、実り多い交流の機会となりますことを願っております。

なお、本研究会の開催にあたり、多数の企業の皆様から多大なるご協賛、ご支援を賜りました。本誌にお名前を記し、深甚なる謝意を表します。

第 2 回 ウサギバイオサイエンス研究会 ご案内

- 会 期 : 2013 年 8 月 3 日(土) 10:00~18:00
- 会 場 : 山形テルサ 大会議室(〒990-0828 山形市双葉町 1-2-3 TEL:023-646-6677)
- 大 会 長 : 大和田一雄(山形大学医学部)
- 大会事務局長 : 福田 直樹(山形大学医学部附属動物実験施設)
- 大会事務局 : 須藤 まゆみ(山形大学医学部附属動物実験施設)

○組 織 : ウサギバイオサイエンス研究会

- ◎会 長 : 範 江林(山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学講座)
- ◎事務局長 : 森本正敏(福岡動物病院看護士学院)

○参加費等

- ◎参 加 費 : 事前登録 4,000 円(学生 2,000 円) 当日登録 5,000 円(学生 3,000 円)
- ◎懇親会費 : 事前登録 5,000 円(学生 4,000 円) 当日登録 6,000 円(学生 5,000 円)

【参加者の皆様へ】

受付で記帳のうえ、講演要旨集とネームカードを受け取られたのち、ネームカードにお名前とご所属を御記入下さい。
また、ランチョンセミナーを企画しております。ネームカードと一緒にお弁当券をお配り致しますので、ランチョンセミナーの始まる前にお弁当とお引き換え下さい。

【演者の方へ】

- * プレゼンテーション用に PowerPoint 2010 (Windows 7)を用意しています。Mac をご利用の場合は PC をご持参ください。
- * PowerPoint のバージョンの違いにより、作成された図表がずれることがあります。発表の 30 分前までに、受付に USB フラッシュメモリーをお持ち頂き、動作確認をお願い致します。
- * 一般講演は、発表10分 + 質疑 3 分を予定しています。時間厳守でお願いします。時間が超過する場合には、途中で打ち切る場合もあります。

【会場アクセス】

○山形テルサ : 山形市双葉町 1-2-3 URL : <http://www.yamagataterrsa.or.jp/index.html>
JR 山形駅西口より徒歩 3 分

プログラム

09:15～ 受付

10:00 第2回 ウサギバイオサイエンス研究会 開会挨拶

10:05～11:49 【一般講演】(発表10分・質疑3分)

10:05～10:31 座長 塩見 雅志 先生(神戸大学)

1. 山形大学で分離された WHHL-TGH、WHHL-TGL および PHT ウサギの特徴について

○伊藤恒賢¹、大和田一雄¹、友池仁暢² (¹ 山形大学医学部附属動物実験施設、² 榊原記念病院)

2. 自然発症メタボリックシンドロームモデルとしての食後高 TG(PHT)ウサギの薬理学的病態解析

○河合孝¹、伊藤恒賢²、大和田一雄²、米良泰子¹、小川直人¹、笹瀬智彦¹、濱田裕美¹、西宇淳³、友池仁暢⁴

(¹ 日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 生物研究所、² 山形大学医学部附属動物実験施設、

³ アクロス・ファーマ、⁴ 榊原記念病院)

10:31～11:10 座長 本多 新 先生(宮崎大学)

3. PHT ウサギの大動脈の初期のアテローム動脈硬化性変化

○松本沙己¹、後藤のぞみ¹、菱沼早織¹、清水良美¹、阿部陽平²、伊藤恒賢³、高梨あさき¹、片野由美¹、石幡明¹

(¹ 山形大・医・看護(病態機能)、² 山形大・医・薬剤部、³ 山形大・動物実験施設)

4. 食後高トリグリセリド血症(PHT)ウサギにおけるインスリンシグナル伝達関連遺伝子の発現解析

○柳原裕太^{1,2}、福田直樹^{2,3}、大沼俊名¹、伊藤恒賢³、大和田一雄^{2,3,4}

(¹ 愛媛大学 総合科学研究支援センター 生物資源分野 ² 山形大学大学院 医学系研究科 生命環境医科学専攻 分子疫学部門 動物実験医科学講座 ³ 山形大学医学部附属動物実験施設 ⁴ (独)産業技術総合研究所)

5. Bisphenol A impairs insulin sensitivity, glucose metabolism and liver functions in WHHL rabbits

○Chao Fang^{1,2}、Bo Ning¹、Ahmed Bilal Waqar¹、Manabu Niimi¹、Shen Li¹、Dedong Kang¹、

Masashi Shiomi³、Sijun Dong²、Jianglin Fan¹

(¹ Department of Molecular Pathology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan, ² Key Lab of Urban Environment and Health, Institute of Urban Environment, Chinese Academy of Sciences, Xiamen, People's Republic of China, ³ Institute for Experimental Animals, Kobe University School of Medicine, Kobe, Japan)

11:10～11:49 座長 伊藤 恒賢 先生(山形大学)

6. 秋田大型ウサギの SPF 化

○松田幸久、池田たま子、柴田淑子、鈴木美帆子 (秋田大学バイオサイエンス教育研究センター動物実験部門)

7. ウサギの麻酔

○黒澤努¹、矢野一男^{2,3,4}、塩谷恭子⁵

(¹ 株式会社夏目製作所、² 旭化成メディカル株式会社、³ 東京女子医科大学、⁴ 早稲田大学、

⁵ 国立循環器病研究センター研究所)

8. 波長 5.7 μm 帯量子カスケードレーザーによる WHLMI ウサギ動脈硬化プラークの選択的除去

○栗津邦男^{1,2,3}、橋村圭亮¹、石井克典¹、秋草直大⁴、枝村忠孝⁴、吉田治正⁴

(¹ 大阪大学大学院工学研究科、² 大阪大学大学院生命機能研究科、³ 大阪大学臨床医工学融合研究教育センター、⁴ 浜松ホトニクス株式会社)

12:00～13:00 【大会長招聘ランチョンセミナー】 座長 大和田一雄 先生(山形大学)

体内時計遺伝子から観る実験動物学—脂肪代謝から睡眠まで—

石田 直理雄 (産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門・筑波大学大学院生命環境科学研究科)

13:10～14:10 【特別講演 1】 座長 範江林 先生(山梨大学)

超低比重リポ蛋白(VLDL)受容体の発見から病態生理機能の解明まで

高橋 貞夫(福井大学医学部 病態制御医学 内科学(3)講座)

< Tea break 10分 >

14:20~15:20 【特別講演 2】 座長 大和田一雄 先生(山形大学)
循環動態の病態生理学的研究におけるウサギの有用性
勝田 新一郎(福島県立医科大学 医学部 細胞統合生理学講座)

< Tea break 10 分 >

15:30~17:27 【一般講演】(発表 10 分・質疑 3 分)

15:30~16:09 座長 小池智也 先生(神戸大学)

9. 遺伝性食後高トリグリセリド血症家兎(PHT)における血小板凝集能と酸化ストレス

○後藤のぞみ¹、松本沙己¹、菱沼早織¹、阿部陽平²、高梨あさき¹、伊藤恒賢³、片野由美¹、石幡明¹

(¹山形大・医・看護(病態機能)、²山形大・医・薬剤部、³山形大・医・動物実験施設)

10. Hypertension enhances atherosclerosis and destabilizes plaques

○Ahmed Bilal Waqar¹, Bo Ning¹, Zhengcao Liu¹, Masashi Shiomi² and Jianglin Fan¹

(¹Department of Molecular Pathology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan. ²Institute for Experimental Animals, Kobe University School of Medicine, Kobe, Japan.)

11. 動脈血管壁の糖代謝と血栓形成能の関連

○山下篤¹、趙莞²、松浦祐之介^{1,3}、越本知大⁴、趙 松吉²、久下裕司⁵、浅田祐士郎¹

(¹宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野 ²北海道大学大学院医学研究科先端医学講座トレーサー情報分析学分野 ³宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学分野 ⁴宮崎大学フロンティア科学実験総合センター実験支援部門生物資源分野 ⁵北海道大学アイソトープ総合センター)

16:09~16:48 座長 北嶋修司 先生(佐賀大学)

12. 遺伝性食後高トリグリセリド血症(PHT)ウサギにおけるアポリポタンパク質遺伝子の発現解析

○福田直樹^{1,2}、柳原裕太^{1,3}、伊藤恒賢²、大和田一雄^{1,2,4}

(¹山形大学大学院医学系研究科 動物実験医学講座、²山形大学医学部附属動物実験施設、³愛媛大学総合科学研究支援センター生物資源分野 ⁴(独)産業技術総合研究所)

13. ヒトアポリポ蛋白 AII 遺伝子導入ウサギの骨代謝

○西島和俊¹、増山律子²、小池智也³、森本正敏¹、渡辺照男¹、範江林⁴、北嶋修司¹

(¹佐賀大学総合分析実験センター生物資源開発部門、²長崎大学大学院分子硬組織生物学分野、³神戸大学大学院医学系研究科附属実験動物施設、⁴山梨大学大学院分子病理学講座)

14. ナイーブ様変換後でもウサギ多能性幹細胞の質的順位は維持される

○本多 新^{1,2}、廣瀬美智子²、羽鳥真功²、本勝希実子¹、伊豆美奈¹、井上貴美子²、平澤竜太郎²、梶谷内純恵²、三好浩之²、小倉淳郎² (¹宮崎大学テニユアトラック推進機構、²理化学研究所バイオリソースセンター)

16:48~17:27 座長 西島和俊 先生(佐賀大学)

15. Normal calorific diet enriched fat and fructose enhances coronary atherosclerosis in WHHL rabbits

○Bo Ning¹, Ahmed Bilal Waqar¹, Xiaoyan Wang¹, Ying Yu², Masashi Shiomi² and Jianglin Fan¹

(¹Department of Molecular Pathology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan ²Institute for Experimental Animals, Kobe University School of Medicine, Kobe, Japan)

16. コレステロールを給餌負荷した食後高 TG(PHT)ウサギにおける不安定粥腫の形成

○小川直人¹、伊藤恒賢²、福田直樹²、大和田一雄²、河合孝¹、笹瀬智彦¹、柿本恒知³、岡本浩史¹、西宇淳⁴、友池仁暢⁵ (¹日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 生物研究所、²山形大学医学部附属動物実験施設、³日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所 安全性研究所、⁴アクロス・ファーマ、⁵榊原記念病院)

17. WHHLMI ウサギの冠動脈プラークの加齢に伴う質的・量的変化の検討

○小池 智也¹、ユウ イン¹、国吉 信恵¹、山田 悟士¹、塩見 雅志^{1,2}

(神戸大学医学研究科 ¹附属動物実験施設、²疾患モデル病態生理学)

17:30~18:00 総 会

18:30~ 懇親会 「レストラン テルサ」(山形テルサ)